



海外研修KYOのあけぼの会  
会長 田中 田鶴子

21世紀を目前に、ミレニアム2000年が幕開けいたしました。会員の皆様には、ますますお元気に、ご活躍の事と拝察いたします。

当会も創立以来12年目を迎えて、会の基盤も固まる中で、会員相互の交流が更に大きく発展して行く時期にさしかかったといえましょう。

しかし世の中の急激な変化のさまは、予想を遥かに越える速度で、私達の身近に起きています。そしていずれの分野を問わず、改革を進めようとする動きにつながっています。

私達もさきに「国際婦人年」を宣言し、北京での第4回世界女性会議をへて女性の地位向上を高くうたい上げて以来、数々の実績と運動の成果を共有してきましたが、本年はニューヨークで「女性2000年会議」が開催されます。男女共同参画社会の実現に向けて、更に力強く改革を計るべき時が来ております。

女性が特有の優しく、細やかな視点から世の中の諸問題の解決に向けて力を出し合う事が、世界の平和と繁栄のために不可欠であると確信いたしております。

「海外研修KYOのあけぼの会」は京都の女性関係団体のリーダーの集まりです。その自覚のもとに海外研修、国内研修の積み重ねによる広い視野からそれぞれが運動の核となり、大いに地域社会の発展に参画し、貢献してまいりたいと思っております。皆様の一層のご協力をお願いいたします。



京都府女性政策課長  
浜野 令子

急速な少子・高齢化の進行、終身雇用等日本型雇用慣行の崩壊、IT革命とも呼ばれるインターネットの普及等、時代は今、大きな音を立てて変わっていきます。「21世紀がどのような時代になるのだろうか」といつい時代の変化を不安げに見つめてしまい勝ちですが、「21世紀をどのような時代にしていきたいのか」と発想を変えると少しは元気ができます。

昨年男女共同参画社会基本法の成立は、「男は仕事・女は家庭」の性別役割分業社会から、男女がすべての社会的領域に参画し共同決定していく新しい社会システムを創っていく画期的な第一歩といえます。

次は、私たちがどのような社会を望み、どのように暮らしたいのかを充分話し合い、当事者やまわりの人々にとっても居心地のよい男女共同参画の多彩なイメージを具体的に家庭や地域や職場でつくりあげていく時代。そのための女性の力量（エンパワーメント）が問われています。

今年は、「平等・開発・平和」をにかけて取り組まれた国際婦人年から25年、女子差別撤廃条約批准から15年であり、6月には「女性2000年会議」が世界の女性が注目するなかニューヨークで開催されます。

またとない時代の転換期を共に生きる仲間としてグローバルな視点で考え、様々な変化を柔軟に受け入れる勇気を持ち、次世代の妹や娘、孫たちにしっかりとバトンが渡せるように私たちの夢を育てていきたいと願っています。

海外研修で得た新たな発見と皆様のネットワークの力は行政の力強いパートナーとして男女共同参画社会の実現に大きな力を発揮していただけると確信いたしております。

# 第11回 KYOのあけぼのフェスティバル'99

ネットワーク～自分らしく生きるためのステップ～

平成11年10月15日(金)・16日(土) 於：京都府民総合交流プラザ

今年度の「KYOのあけぼのフェスティバル」は、実質的な男女平等の実現を目指し、京都府内の男女が一同に集い、学び、そして刺激しあえる「エンパワーメント」醸成の場とするため、広く府民の方々にワークショップが公募され、自主的な参加を期待して開催されました。

## 10月15日(金)

- オープニング「マンドリン演奏」
- 式典（京都府あけぼの賞表彰式）
- 基調講演  
「新しい明日をひらく鍵—男女共同参画社会基本法」  
講師 樋口 恵子氏
- ワークショップ
  - ① 地域を活かそう！  
パートナーシップと家族経営協定
  - ② シルバー世代のおしゃれ 感覚と衣のじっさい。  
高齢者の生き方と被服の関連性
  - ③ 手づくり工房「命みつめて」
  - ④ 地域の特産品開発にとりくんで
  - ⑤ “旬の食材” 買い物ゲーム
  - ⑥ 海…舞鶴からの発信
  - ⑦ 自分に出会うワークショップ～関係のなかの私～
  - ⑧ 歩くことと足と健康
- おふくろ名人いきいき交流広場  
お願い  
公募企画ワークショップ部門を担当した「海外研修KYOのあけぼの会」としては、次年度は是非このワークショップに本会からも、たくさんの応募者があることを希望します。

## 10月16日(土)

- 映画上映「愛を乞うひと」
- 実行委員会実施企画
  - ① 講演とシンポジウム 講師 筒井 清子氏  
「男女共同参画社会をめざして  
～自分らしく生きるためのステップ～」
  - ② ふれあいスポーツ  
「ニュースポーツ体験コーナー」
- ワークショップ
  - ① 私らしく出来ることから一歩ずつ
  - ② 女性にとっての姓と性
  - ③ 和紙ちぎり絵講習
  - ④ 世界ののみものと時事英語トーク
  - ⑤ メディア・ウォッチング  
～商品広告に見る女性～
  - ⑥ 国際いどばたどたばた会議 PartIV
  - ⑦ お茶席「一服どうぞ」
  - ⑧ 学習・活動・交流のプロセスでエンパワーメント！
  - ⑨ 楽しい絵手紙 へたでいいへたがいい
  - ⑩ こころとからだのコミュニケーションワーク
  - ⑪ パネルディスカッション  
「肥満・高脂血症の予防のために」
- おふくろ名人いきいき交流広場

### ワークショップ「和紙ちぎり絵」を開いて

武田 公子

絵でも写真でもない不思議なアートに魅せられた上、近くにお住まいの優れた先生を指導者にお迎えする事ができて、私達の学区で「和紙のちぎり絵サークル」が始まりました。

そしてある日、第11回KYOのあけぼのフェスティバル'99におけるワークショップ出演の誘いを受けました。当日は、「心いっぱい美しい心を育てよう」のテーマのとおり、夢中で和紙に取り組んだ一日でした。ちぎり絵は、手先を小まめに使う作業で老化予防の効き目もさる事ながら、身近な事物をじっくり観察して、心に響く美しいものに素直に感動する柔らかな

感性を磨くものと常に説かれる先生のお考えを、一人でも多くの人に知ってもらおうとの一心でした。

予想を上回る約50名の方々が熱心に手ほどきに耳を傾けてくださり、大いに盛り上がり私達助手はてんてこ舞の連続でした。

これからも、私達の周りに潜む美を発見していく喜びをみんなと共有して「ちぎり絵」の世界を広げて行きたいと思っています。

